

令和2年度 第1回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和2年4月21日(火) 午後1時30分～午後4時20分

会 場 下野市役所2階 203会議室

出席委員 教 育 長 池澤 勤 職務代理者 永山 伸一
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫
委 員 佐間田 香

出席職員 教育次長 清水 光則
教育総務課長 近藤 善昭
学校教育課長 田澤 孝一
生涯学習文化課長 篠崎 正代
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 若林 毅
教育総務課長補佐 神田 晃
教育総務課主事 岡野 祐衣

公開・非公開の別 公開(一部非公開)

傍聴者 0 人

報道機関 0 人

議事録(概要)作成年月日 令和2年5月21日

議 題

- 議案第1号 令和2年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び任用について
- 議案第2号 下野市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第3号 下野市図書館協議会委員の委嘱について

協議事項

- (1) 下野市総合計画審議会委員の推薦について
- (2) 下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の推薦について
- (3) 下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の推薦について

報告事項

- (1) 教育委員会後援等の承認について
- (2) 寄附の受け入れについて
- (3) 令和元年度通学路整備要望と対応結果について
- (4) 新型コロナウイルスへの対応について

そ の 他

- (1) 令和2年度教育委員会主要日程について

1. 開会
- (池澤教育長) 2. 教育長挨拶及び報告
- 3月19日から本日までの職務について報告させていただく。
- ・3月19日、市内の小学校卒業式が実施された。卒業生は518名。
 - ・3月23日、4月6日は、臨時校長会を実施。
 - ・3月24日、教職員の内示を行った。
 - ・3月25日、佐間田委員の辞令交付式を公室で行い、市長から辞令を受けた。
 - ・3月31日、教職員退職辞令交付式を行った。退職者は20名。
 - ・4月1日、教職員辞令交付式を行った。下都賀管内では着任式は行われなかったが、下野市は、新任校長2名、新任教頭4名、新規採用教職員15名、転採の方13名、新しく教務主任になった方を含め総勢39名、そこに事務局職員と教育委員に出席いただき、規模を縮小して実施した。
 - ・4月3日、祇園小と南河内第二中の校長の事務引継ぎが完了した。
 - ・4月6日、教育委員に出席いただき、教育行政説明会を行った。教育行政説明会の後、臨時校長会と臨時教育委員会を行い、4月11日から5月6日までの臨時休校を決定した。
 - ・4月8日、市内中学校入学式が行われ、新入学生徒は491名。
 - ・4月9日、市内小学校入学式が行われ、新入学児童は496名。
 - ・4月16日、新型コロナウイルスの感染急増を受け、全47都道府県に緊急事態宣言が発令された。
 - ・4月18日から県内小中学校の休校延長ということで、現在、県内の全小中学校が休校中である。
- 以上の報告内容について質疑等あるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 永山委員及び熊田委員を指名

4. 前回議事録の承認について、事務局より説明をお願いします。
- (神田課長補佐) 第12回教育委員会定例会の議事録について、修正箇所が多いため、配布の修正箇所一覧表のとおりとする。
- (池澤教育長) 議事録はこのとおり承認とする。

5. 議題

議案第1号から第3号までについては個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。

(全委員異議なし)

それでは、議案第1号から第3号までについては非公開で行うことと決定する。

では、議案第1号 令和2年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び任用について、説明を求める。

以下、非公開

(池澤教育長) 議案第1号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第1号は原案どおり決定する。
続いて、議案第2号 下野市公民館運営審議会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(池澤教育長) 議案第2号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第2号は原案どおり決定する。
続いて、議案第3号 下野市図書館協議会委員の委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(池澤教育長) 議案第3号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第3号は原案どおり決定する。
以上で、議案についてすべて承認いただいたので、ここで非公開を解く。

6. 協議事項

(池澤教育長) (1) 下野市総合計画審議会委員の推薦について、説明を求める。
(近藤教育総務課長) 三橋前委員に委嘱していたが、3月24日をもって退任されたため、後任の選出について協議いただきたい。佐間田委員は、現在“えがおのたまご”代表として総合計画審議会委員に選出されている。これから協議をいただくが、佐間田委員が教育委員から総合計画審議会委員に選出となった場合は、事務局である総合政策課で、後任として別の方を選出する。

(池澤教育長) 佐間田委員にお願いしてよろしいか。

(佐間田委員) 了承した。

(池澤教育長) 委員の皆様よろしいか。(全委員承認)

下野市総合計画審議会委員に佐間田委員を教育委員会から推薦することで決定した。

続いて(2)下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の推薦について、説明を求める。

(近藤教育総務課長) 下野市立国分寺学校給食センターから運営委員会委員の推薦依頼があった。委員の任期は令和2・3年度の2年間となる。前年度まで三橋前委員が務めていた。後任について協議をお願いしたい。

(池澤教育長) 佐間田委員にお願いしてよろしいか。

(佐間田委員) 了承した。

(池澤教育長) 委員の皆様よろしいか。(全委員承認)

下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員に佐間田委員を教育委員会から推薦することで決定した。

続いて(3)下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の推薦について、説明を求める。

- (田澤学校教育課長) 毎年選定が行われている特別支援学級用と併せ、本年度は中学校の教科用図書の選定の年になっており、教育委員1名の選任をお願いしたい。
- (池澤教育長) 永山委員をお願いしてよろしいか。
- (永山委員) 了承した。
- (池澤教育長) 委員の皆様よろしいか。(全委員承認)
下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員に永山委員を教育委員会から推薦することで決定した。

7. 報告事項

(1) 教育委員会後援等の承認について、説明を求める。

- (近藤教育総務課長) 3月現在で、後援3件承認し、うち1件が新型コロナウイルス感染防止のため中止となった旨の報告を行う。

(池澤教育長) 質疑等あるか。

(永山委員) 承認した2件については、過年度の実績もあるのでよいが、申請者について、名前を見ただけでは分からないことがよくあるので、申請者である団体や個人の活動に関する資料を付けていただきたい。

- (近藤教育総務課長) 次回から資料を付けさせていただく。

(永山委員) 続いて(2)寄附の受け入れについて、説明を求める。

- (近藤教育総務課長) まず、小山農業協同組合からランチョンマット390枚、500円の図書カード225枚の寄附があった。ランチョンマットは、石橋地区・国分寺地区の新小学1年生に配布した。図書カードは、直売所の年度末売上の0.3%分を寄附いただき、石橋地区・国分寺地区の各小学校に指定された枚数を配布した。

2件目として、宇都宮農業協同組合からランチョンマット200枚の寄附があった。これらは、南河内地区の新小学1年生に配布した。

(池澤教育長) 質疑等あるか。(特になし)

続いて、(3)令和元年度通学路整備要望と対応結果について、説明を求める。

- (近藤教育総務課長) 昨年度も市内の各小中学校から通学路整備の要望をいただき、ヒアリングを行った。その結果、一覧表にある40件に絞り、その対応について通学路安全推進会議において検討してきた。また、会議の後に、現場の確認等を行い、その対応についてまとめた。

(以降、資料 令和元年度通学路整備要望と対応結果一覧より説明)

(池澤教育長) 質疑等あるか。

(永山委員) 何点か伺うが、1点目は1ページの2番、×印になった薬師寺小の要望について、下野警察署からは、「通学路の変更を検討願います」とボールを投げ返されたような返答があったようだが、このような場合、通学路の変更は検討しているのか。

- (近藤教育総務課長) 学校に再度変更をお願いしているところだが、変更できたかどうかの確認はまだ行っていない。

(永山委員) ボールを投げ返されたような返答が、その次の3、4、5、8、9、20、21、22番とたくさんある。投げ返されたものをそのままにしておくことは望ましくないなので、そこは学校で対応していただいて、できれ

ばその報告もまとめていただきたい。

2点目は、11、12番で、「道路管理者対応」と下野警察署が回答しており、2件とも市道と思われるが、市の道路管理者はどのような対応を行ったのか。

(近藤教育総務課長) 2件とも市道であり、今年度、建設課でグリーンベルトを設置する予定である。

(永山委員) 17番については、「横断歩道は縦並びでなく、横並びで横断することを指導して頂きたい」と回答されているので、学校での交通指導を徹底していただきたいと思う。

34番について、栃木土木事務所より「市と連携し必要な対策を検討する」と回答されているが、土木事務所との協議はどのようになっているのか。

(近藤教育総務課長) こちらは県道のため、県が所管しているが、用地買収など地域の方の同意が必要となる場合に、市も協力しながら進めていく。

(永山委員) 対応に時間がかかりそうなので、まずは、立哨指導や通学路の変更等を行う必要がある。

(池澤教育長) ただ今の意見については、現状を把握し、報告できるようにする。ほかに質疑等あるか。

(熊田委員) 市内小中学校にはこの一覧表を配布しているのか。他の学校の要望と、それに対する対応が分かるので、要望内容や要望のアプローチ方法等の参考になると思う。

(近藤教育総務課長) 他の小中学校の状況が分かるように、この資料を配布している。

(池澤教育長) 校長会でも渡している。

(永山委員) この一覧表の作成は、鹿沼市でクレーン車事故が起きた際に、下野市の通学路整備はどうなっているのかという意見を出したことから始まった。要望を出して終わらせるのではなく、フィードバックをした方が良いということで一覧表を作成していただいた。

(熊田委員) 良い資料なので参考になる。

(池澤教育長) 通学路点検については、一昨年からスクールガードリーダーも加わり、現地視察も含めて行ってきた。また、対応も早く行っていただいている。整備状況の○印の割合も、平成30年度の37.5%から50%に増えた。ただし、横断歩道の位置をずらして欲しいという要望があっても、逆にずらすと危険であるといった場合には対応できないので、そのような部分についてはご理解いただきたい。ご意見を賜り、いい方向に進めていきたいと考えている。

(池澤教育長) 続いて、(4)「新型コロナウイルスへの対応について」説明を求める。

(田澤学校教育課長) 「新型コロナウイルスへの対応について」の資料に基づき、説明を行う。

【説明要旨】

(1) 小中学校の臨時休業についての説明

- ① これまでに行った対応
- ② 今回行った対応
- ③ 臨時休業決定の理由

④今後の対応

(清水教育次長) (2) 教育委員会所管施設の対応についての説明

①4月10日までの対応

②4月10日以降の対応

(池澤教育長) 続いて、学校教育課より提出された追加資料について説明を求める。

(田澤学校教育課長) 「(追加資料1) 新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業等に係る基本的な考え方」の資料に基づき、説明を行う。

【説明要旨】

以下の9項目に対する市教育委員会の対応方法についての説明

①臨時休業の判断

②保護者への周知

③臨時休業中の児童生徒の健康状態の把握

④学習

⑤部活動及び学校施設等の利用

⑥職員の勤務

⑦学童保育に関すること

⑧学習の評価

⑨授業日数の確保

続けて、「(追加資料2) 学校再開に向けてのガイドライン」の資料に基づき、説明を行う。

【説明要旨】

学校が再開した際の具体的な取組についての説明

①保健管理

②環境衛生

③授業について

④給食について

⑤学校行事や集会について

⑥部活動について

⑦感染者や発熱等への対応について

(池澤教育長) 5月6日以降の対応について、委員の皆様にご意見を賜りたい。

(永山委員) 大学等は、前期はネット授業を行い、10月から学校再開という対応を取っているところが多い。小中学校においても、これから臨時休業が長引く可能性が出てくるが、先程示されたガイドラインの中には、子どもたちの授業に対する具体的な対応策が出ていないので、一度検討されてはいかがか。再開できることが一番望ましいが、夏休みを過ぎても再開できない可能性もある。これから、下野市のような小さな自治体でネット授業を行うのでは間に合わないかもしれないが、例えばさいたま市のような大きな自治体では、対応を始めているところがある。既に対応を行っている自治体に、ネット授業を借用することは可能かどうかを打診してみるのはいかがか。ネット環境は自前で整えるとしても、ソフト面については、どこからか提供を受けられないかということを考えていた。

(田澤学校教育課長) 文部科学省で子どもの学習支援についてまとめたサイトがある。そのサイトについては、各学校でも紹介している。現在、市教育委員会では、政

府が進めている GIGA スクール構想に基づき、個人端末の整備について準備を行っているところである。現状では、家庭によってネット環境が異なるため、差が出ないように検討を進めている。対応策の1つとして、各学校にお願いした、教員による家庭訪問等によって、ネット環境のない子どもに対しては、プリントを配布することを検討している。分散登校が可能となれば、学校で学習して、課題を家庭に持ち帰り、学習することもできる。このような流れを作り、少しでも学習の遅れについて対応していきたいと考えている。

また、ネット授業については、さいたま市の他に、福岡市でも作成していることを確認しており、個人的にアクセスして視聴することは可能なので、下野市のホームページにリンクを貼って活用することは可能かどうか、確認させていただく。

(永山委員)

紹介するにあたって了解を得なければならないので、一度連絡を取ることには大事である。プリントで対応したり、分散登校によって学校で学習を行い、家庭で復習をしたりすることも良いと思うが、これは学校が再開できた場合の話である。学校が再開できる場合と、再開できない場合のように、何段階かの構えが必要である。それから、先生方の家庭訪問が若干心配である。直接会って子どもたちの様子を確認することは必要なことであり、非常に素晴らしいことであると思うが、一般の人からの目線からすると、先生方が家庭訪問で動き回るということについてどのような印象を受けるだろうか。先生方が感染しても休校措置になるので、そのような状況の下で、教育委員会から家庭訪問を要請することがどう捉えられるかということが心配である。

(池澤教育長)

他に意見等はあるか。

(佐間田委員)

市内の小児科では、毎日数名、感染が疑われる方がいらっしゃるという現状がある。このような状況の中で、学校が再開することは怖いと感じている。

小学生の子どもがいるが、先程、田澤学校教育課長の話にもあった文部科学省のサイトが、学校の先生からの一斉メールで何度か紹介されている。初めは手を付けなかったが、友達はそのサイトを見ているということを知ると、子どもは、自分も見ると言い始めた。子どもたちは、皆が見ているということがわかると、見始めるのだと思う。親のスマートフォンにメールが届く家庭が多いと思うので、「今日はこれをみせてください」というようなメールを送ることで、親は子どもに見させるのではないだろうか。

実際、毎日先生が、子どもたちに向けてメッセージを送ってくださっている。子どもは、それをとても楽しみにしている。そのメールに、その日に見てほしい授業について書くことで、見るようになると思う。

(池澤教育長)

他に意見等はあるか。

(熊田委員)

保護者の方から、勉強面に対する不安の声を聞いている。特に、中学校3年生の子どもを持つ親は、勉強が遅れているので、受験ができるのかという不安を持っている。受験が控えている中学校3年生だけでも、先に対応を始めていただけないだろうか。

大学生は、入学時にパソコンを買うよう指示されるので、家庭でネット授業を受けることも可能であるが、小中学生は難しいと思うので、スマートフォンから視聴することが多くなると考えられる。

プリントでの学習については、細かく提出期限を定めることで、子どもたちの生活と学習のリズムができるのではないだろうか。

(池澤教育長)

現状としては、家庭訪問ではなく電話で対応を行っているが、電話が繋がらない家庭も相当数あり、また学校の電話の回線数の問題もある。配慮が必要な子どもの家庭については、こまめに訪問する必要があるが、35人学級の場合、1日6人の家庭訪問を行ったとしても、1回ずつしか行くことができない。

一人一人の子どもが1日の計画を立てて過ごすということは、非常に難しい課題であるが、今日1日自分が何をして過ごしていたのか、印象に残ったことを書き留めることで、振り返ることができる。人として重要な、自分の考えで時間を使うという訓練にもなるチャンスである。また小学校高学年から中学生の子どもには、本を読んで、その感想や紹介を書いてもらうことで、思考形成に繋がると考えている。それに併せて義務教育で学ばなければならない内容については、プリント学習を行っている。今までの長期休業中に、各学校が出した課題を全て確認したが、先生方が工夫を重ねてくださっている。現在、復習中心の学習になっているので、今後も長期の休業になる場合には、新しい教科書を使って前に進める必要がある。

教える側と教えてもらう側の関係として、顔を見てどんな表情で伝えるかという部分については、電話ではできないので、直接顔を見ることで人間関係を作る必要があると捉えている。

学校には、保護者の方に、学校だよりや学年だより、一斉メール等で情報を提供するようにお願いした。また、学校運営協議会の開催や、PTA役員との面会もお願いしている。

他に意見等はあるか。

(石嶋委員)

学校が再開できる状況についての、ガイドラインは示されているのか。

(田澤学校教育課長)

緊急事態宣言が解除されることが第一条件であり、学校の再開については、市の対策本部に判断していただく。

(石嶋委員)

下都賀地区で連携を取っていくのか。

(池澤教育長)

市町によって発症状況が異なるため、連携を取ることは不可能である。

他に意見等はあるか。

(佐間田委員)

長期の臨時休業を見込んでの課題についてであるが、読書感想文や自由研究など、時間があるからこそできる、考える宿題も出していただいた方が、子どもたちが能動的に動けるのではないだろうか。

(池澤教育長)

他に意見等はあるか。

(永山委員)

通常は、学校の授業を通して学習の芯の部分が作られ、さらに理解を深めるために発展問題を解たり、補足的に宿題が出たりしているが、今は芯の部分がなくなっている状態である。短期的には宿題だけの対応ができると思うが、これから長期の臨時休業になった場合は、対応が難しくなってくる。教科書に沿った形で、先生が授業の様子を動画に撮って配信するな

ど、1年間学び通すことができるような対応をしていくべきである。授業に代わるような、一本芯を通せるものを、工夫して準備していかなければならない。

8. その他

- (池澤教育長) (1)「令和2年度教育委員会主要日程について」説明を求める。
- (近藤教育総務課長) 「令和2年度教育委員会主要日程」に基づき、2月時点から修正になった点や追加された点について説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (熊田委員) 下地区教委連合会全体研修会の日程が7月31日となっているが、30日の間違いではないか。
- (近藤教育総務課長) そのとおりである。30日に訂正をお願いする。
- (田澤学校教育課長) 8月18日の中学生議会及び9月19日のイングリッシュフォーラムは中止が決定したので、削除していただきたい。
- (永山委員) 教科書選定委員会についてであるが、委員の方を選任する際には、必ず出席できる方をお願いしたい。
- (熊田委員) 前もって日程が分かっていたら、出席できる方も多いと思うので、PTAのほうにもこのような意見が出たということを伝えさせていただく。
- もう一つ質問であるが、6月21日の市民体育祭ティーボール大会は開催する予定なのか。
- (若林スポーツ振興課長) 現在、体育協会と関係団体で対応策を検討しているので、決定次第委員の皆様にご連絡させていただく。
- (池澤教育長) 文化財課に関連する日程について、連絡事項等はあるか。
- (山口文化財課長) 例年、歴史館と資料館には、年間50校近くの小学校の見学があるが、全てキャンセルになってしまっている。
- (池澤教育長) 他に連絡事項等はあるか。
- (熊田委員) 歩いた距離でポイントが貯まる、「FUN+WALK」というスマートフォンアプリがある。自治体によってはポイントによってクーポンをもらえたり、小学校に図書費を寄付したりできるようになっている。下野市にもぜひ取り入れていただきたいと思い、紹介させていただいた。
- (池澤教育長) 次回の教育委員会は、5月21日(木)午後1時30分からの予定とする。本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時20分閉会。